



# たからぎ通信

## 春号



発行日：2017年4月25日

### 在宅医療とは



村井クリニック  
院長 村井 邦彦

在宅医療をひと口で説明すると、生活を重視した医療といえます。そこには「治す」とともに、「ご本人・ご家族の生き方を「支える」視点があります。大切なことは、限りある人生を幸せに、豊かに生きることであり、それを支えるのが在宅医療であるといえるでしょう。

在宅医療の対象は「寝たきりまたはこれに準ずる状態で通院困難な者」と定義され、主治医が判断します。一般的には、足腰が弱った、認知症で判断が難しい、機械が装着され簡単に外出できないなどの要因で通院困難な場合に適用されます。クリニックから直線距離で十六キロ以内という制約もあり、当クリニックの場合、北は下野大沢やさくら市、西は鹿沼市、南は壬生町や上三川町をカバーしますが、遠方の場合は在宅医療を提供する他の医療機関と棲み分けしています。在宅医療に関わる職種は、医師、看護師、ケアマネジャー、

栃木県内の医療・福祉・介護の関係者が一堂に会す「在宅ケアネットワークとちぎ」は二一回目を数えます。毎年当院もブースの出典をするなど、積極的に参加させていただいております。今年には言語聴覚士・管理栄養士が仲間に加わり、在宅における食支援チームについてアピールもさせて



第21回

### 在宅ケアネットワークとちぎ

いただきました。地域連携推進室を中心として、在宅医療・介護の推進に欠かせない「食」を支える環境作りをしていきたいと考えます。献立から食形態、口腔ケアから咀嚼・飲み込みまで、専門的な見地から支援できる体制を整えました。「食べる」を諦める前に一度ご相談ください。

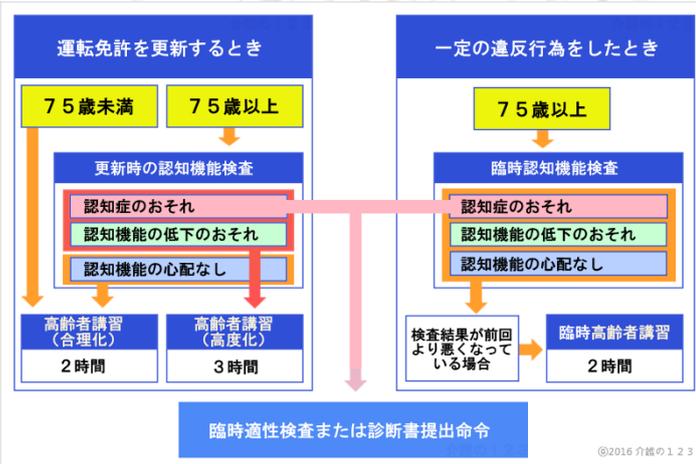
鈴木隆浩

### 自主返納のススメ

二〇一七年三月一二日、道路交通法改正により、七五歳以上のドライバーの免許更新制度が改訂されます。免許の更新時に、認知症のおそれがある（第一分類）、認知機能の低下のおそれがある（第二分類）、認知機能の心配なし（第三分類）の三類型に分けられ、第一分類と判定された場合、医師の診断書の提出命令を課せられるというものです。今回の改正では、高齢者ドライバーに対し厳しいようにも感じます。しかしながら、近頃のメディアにも多く取り上げられているように、高齢者ドライバーによる交通事故

ホームヘルパーは当然ですが、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士も関わり、多職種連携で生活の基盤を支えます。また、最近ではインフォーマルサービスとして、住民同士の互助や住民主体の生活援助などが重視されています。宗教家（僧侶、神父）が在宅医療の現場に関わるケースも増えていますが、受け入れる市民の側の認識が追いついていないようです。医療と社会のパラダイムチェンジについて、続けて夏号でお伝えします。

## 改正 免許制度 高齢者ドライバーの方はご用心！？



故は後を絶ちません。加齢とともに運動能力や、反射神経が衰えてくるのは仕方ないことです。こうして法律が改正されたのも事故を未然に防ぐという意味合いもあります。更新時、免許取り上げになる前に、自主返納をお勧め致します。自主返納時に「運転経歴証明書」が発行されます。これは身分証明書として活用でき、タクシー利用時に提示すると一割引になるなどの特典もあります。その他、宇都宮では七〇歳以上の市民の皆様へ「高齢者専用バスカード」、「地域内交通乗車券」の交付を受けることができます。詳しくは宇都宮市役所高齢福祉課福祉サービスグループ（〇二八六三二）二三六七）へお問い合わせください。

鈴木隆浩

# 特集 たかろぎ

対談：在宅食支援チーム

管理栄養士 × 言語聴覚士

ファシリテーター：社会福祉士

社会福祉士―在宅食支援チームとして動き出しましたがそれぞれの職種でできることを教えてください。

管理栄養士―食支援チームの本来の目的というのは、言語聴覚士さんとソーシャルワーカーさんや看護師さんなどいろいろな職種の方が一人の人に関わって、その人の生活の質が向上していければいいと思うのです。咀嚼嚥下が困難な方に言語聴覚士さんがリハビリを（口腔体操など）行い、その次の段階の、**食べ物を食べるという段階において「食べやすく」とか「楽しく食べる」とか**、そういう一連の流れの一員として管理栄養士がお手伝いできることはないかと思っています。

社会福祉士―一人の人に向きあえたチームとして、一緒に関わっていくということが必要なですね。

言語聴覚士―言語聴覚士としてできることは、むせやすい方ですとか、あとは食べ物の形態がなかなか自分にあっていない方の中にはいらつしやるので、そういった方に対して**飲み込みの評価をしながらその方にあった食事の形態を考えて**、少しでも本人の食べたいという気持ちとご家族様のおいしいものを少しでもたべてほしいという気持ちを、くみ取っていけるように支援しています。

私だけでは、食支援としてはなりたたくて、やはり栄養面とか食事の形態とかの相談も栄養士さんにさせて頂いていきます。それぞれの食べることに必要な「栄



## 職員紹介

事務部  
主任 込山 啓子

私は小さい頃よりケガをしたら「村井クリニックに行くよ」と母に連れられ、こちらでお世話になっていました。今も変わらずに地域に根差しているこのクリニックに勤めて六年になりました。困ったことがあったら村井クリニックに相談に行こう、と気軽に来て頂けるよう、笑顔でお迎えしたいと思っております。



事務部  
主任 込山 啓子

看護部  
主任 福田 淳子

私は今まで、病棟とデイサービスでの仕事を通して、患者様や利用者様と関わる中で、ご家族や介護者の存在が大きく、その役割が重要であることに気付きました。外来業務中、可能な限り時間を設けて、患者様やご家族様の立場になり共に考え、それらの想いに寄り添いながら、質の高いケアを提供する役目を果たせたらと思います。



看護部  
主任 福田 淳子

**村井クリニック**  
MURAI CLINIC  
〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町 1-2589  
TEL:028-621-1541  
FAX:028-621-1514  
http://www.murai-opc.org/

記事内容に関するお問い合わせ  
028-643-0332  
担当（鈴木）



一人じゃないです。私たちも一緒に応援させていただきます。



だんだんと春らしくなり、桜も満開を過ぎて、心地よい気候になってきました。年度の変わり目でもありません。そんなときこそ、ゆつくりと花を愛でる心の余裕が欲しいものです。三寒四温の折、体調を整えて、ご自愛ください。

### 編集後記

「ルーフォーライフとちぎ」  
リレーフォーライフとちぎ二〇一七が開始しています。今年の実行委員長も当院の院長が五期目をつとめます。現在、ボランティアアさん、実行委員を絶賛募集中です！



「養」とか、歯科の問題では、歯科衛生士さんや歯科医師のみなさんとの連携も大切ですし、食べるにしても姿勢がしっかりしていないと誤嚥にも繋がりますのでリハビリスタッフの介入も必要です。食支援チームに管理栄養士さんが入ってきた事で、より充実した支援ができるといいなと思いつつ、日々リハビリをさせて頂いています。

